

上関原発計画白紙撤回に向けた

飯田哲也 講演会

(環境エネルギー政策研究所所長) さん

演題「3・11後の日本のエネルギー戦略」

7月10日(日) 14時~17時
労福協会館 4階大会議室

山口市緑町3-29

TEL 083-925-7332

福島第一原発事故は、「想定外の天災」なのか？
原子力に頼らなければ、電力はまかなえないのか？
放射線被爆の影響は？

上関原発に反対し続けている人達は、何を願っているのか？

憲法9条と25条をもつ国に生きる人間として、上関原発が計画されている山口県に住む人間として、今なすべきことは？

東日本大震災に遭遇された人達との、連帯の道は？



私たちは、国の最高法規である憲法の第9条で戦争放棄を宣言し、25条で「健康で文化的な最低限度の生活を営む」権利を有しています。今こそ、山口県に生きる人間として、上関原発計画の白紙撤回を勝ち取らなくてはならないと考えます。

そのことによって、言い尽くせぬ被害に遭われた東日本の人々と連帯していきたいと思います。

祝島島民の会から
現地闘争報告

参加費無料!

どなたでも参加出来ますので、
ぜひご家族、お友達をお誘いの上ご参加下さい

一日 程一

- 飯田哲也さん講演 14:10~16:10
- 祝島島民の会・山戸貞夫さんから現地闘争報告 16:15~16:45
- 質疑 16:45~17:00

主催：コープやまぐち労働組合・9条の会 TEL083-972-2313

＜飯田哲也さん プロフィール＞

1959年、山口県生。京都大学原子核工学専攻修了。東京大学先端科学技術研究センター博士課程単位取満期退学。大手鉄鋼メーカー、電力関連研究機関で原子力R&Dに従事した後に退職。現在、非営利の研究機関（NPO法人 環境エネルギー政策研究所）の代表を務めつつ、複数の環境NGOを主宰し、科学者でもあるというトリプルコースを歩んでいる。自然エネルギー政策では国内外で第一人者として知られ、先進的かつ現実的な政策提言と積極的な活動や発言により、日本政府および東京都など地方自治体のエネルギー政策に大きな影響力を与えている。



主著に『北欧のエネルギーデモクラシー』、共著に『グリーン・ニューディール—環境投資は世界経済を救えるか』（NHK出版）、『日本版グリーン革命で 経済・雇用を立て直す』（洋泉社新書）、『自然エネルギー市場』（築地書館）、『光と風と森が拓く未来—自然エネルギー促進法』、『環境知性の時代』、訳書に『エネルギーと私たちの社会』など。

山口県労働者福祉文化中央会館 案内図

【住所】
〒753-0078 山口市緑町 3-29
TEL 083-925-7332 FAX 083-921-16
URL <http://www.welfarejg.jp/>

